

第 64 回 東京消化器内視鏡看護勉強会レポート

テーマ：「内視鏡システム、洗浄消毒機のハンズオン～実機を用いた勉強会～」

日 時：2025 年 9 月 27 日 14：00～16：00

会 場：富士フィルム 西麻布テクニカルセンター

参加者：25 名

2025 年度 3 回目のテーマは、『内視鏡システム、洗浄消毒機のハンズオン～実機を用いて～』です。今回は富士フィルムメディカル株式会社のご協力のもと開催致しました。

日頃疑問に思っていること、トラブル対応、他施設での工夫や聞いてみたいことなど解決できるよう努めました。素朴な疑問も実機のそばで質問することにより、スピード解決につながったと思います。非常にわかりやすく、明日からすぐに役立つ内容ばかりでした。

さて、勉強会の様子です。

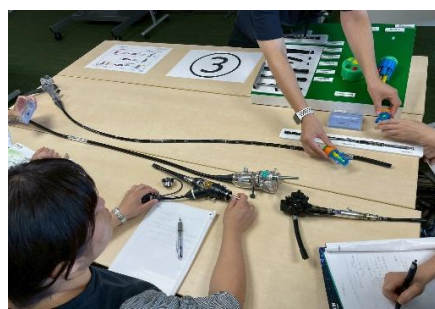
- ①システムの説明(AI などの紹介)
- ②トラブルシューティング(送気送水・吸引・モニター画面)
- ③スコープ・ボタンなどの構造理解
- ④経鼻前処置
- ⑤災害対策 マニュアル洗浄の実際
- ⑥洗浄機や洗浄液交換の注意事項や管理・フィルター交換

と 6 テーマに沿って参加者 4～5 名ずつグループを作り、各ブースを回りました。説明を聞き、自由に質問タイムを設けましたが、どのグループも積極的に質問が飛び交っていました。実機がすぐそばにあるため説明もとても分かりやすかったと思います。

①では、「検出用上部内視鏡画像診断支援プログラム」「検出・鑑別用下部内視鏡画像診断支援プログラム」の最先端技術を、モデルを使用し紹介していただきました。

②では、「送水が弱い・送水しない・画面にノイズが・・・」などの点検方法のポイントを伺いました。

③では、スケルトンスコープで各管路内の構造や材質・ボタン類の内部構造を視覚的に学ぶことによりベッドサイド洗浄やブラッシングの必要性や重要性を再確認しました。



④経鼻内視鏡のプリビナ噴霧の効果・「ルネミッシュ」の有用性・カテについている線の意味・キシロカインの使用方法など細部にわたっての講義に普段何気なく行っている処置も

納得のいく内容でした。

⑤では、洗浄機が普及する中、大規模震災に見舞われた折の「マニュアル洗浄消毒の実際」をシンク内で実演していただき理解を深めることが出来ました。

⑥では、洗浄機の側面パネル内の様子にびっくり。「こんな大きなタンクが入っていたの」「たくさんの配線やチューブ類があってただ物ではない感じ」がしました。



勉強会後のアンケートでは、

- ・学会などでは質問しにくいことでも少人数で聞きやすかった。
- ・富士フィルムの方々の教え方もわかりやすく聞きやすかった。
- ・どのブースも説明が分かりやすく、質問もしやすかった。
- ・実際の実機を細かいところまで見せていただきながら詳しい説明聴けたのはとてもよかった。ちょっとした疑問もすべて解決した。
- ・このようなハンズオンはとても勉強になった。

など、とても充実した内容であったと思います。

営業本部東京支社内視鏡システムセンター長の島田様、内視鏡事業部技術部営業技術グループの関様はじめ、講師を引き受けていただいた方々に御礼を申し上げます。

富士フィルムの皆様、たいへんありがとうございました。

この会の特色として病院からクリニックまで職場環境は様々で、今回は洗浄業務に携わる方の参加もあり、細やかな内容の講義は、大変役立つ内容になりました。

今後も小規模ながらも内容の濃い、日常のちょっとした疑問などの解決にも役立つような勉強会を企画していきたいと思います。



富士フィルム西麻布テクニカルセンター18F うっすら富士山

文責：小倉